

芸術、ため

題字 加登互川



フィナーレ「花は咲く」

舞台・芸術事業 「第十六回 早春の風にのせて」

今年度の舞台・芸術事業は、「第十六回早春の風にのせて」と題し、洋楽部門の大富栄里子さんのプロデュースで、二月十一日（祝）に伊丹アイフオニックホールのメインホールで開催しました。

第一部は、小山亜希さんのヴァイオリン、大富栄里子さんのピアノによる演奏から始まりました。夏のギャラリーコンサートでも共演の絶妙なコンビネーションは健在、ヴァイオリンの澄んだ音色とピアノの深く包み込む音色に観客は心洗われました。「ハンガリー舞曲第五番」など四曲が演奏されました。

続いて、大富栄里子さんによるピアノと祝丸さんによる和楽器（篠笛・小鼓）のコラボレーション。日本伝統芸術である能楽の構成やリズム表現を用いた

「序の舞」上村松園の絵に基づく「」が厳かに響きました。

第一部最後のステージでは、祝丸さんによる太鼓・鳴物。祝丸さんが創作した「圓いこー」、「TITAN-TITAN」が披露されました。ダイナミックで迫





力満点の太鼓の響きに会場は、一気に熱気に包まれました。第二部最初のステージは、菊葉真うさぎさんの箏の演奏「鳥のように」から始まりました。大空を舞う鳥のような美しい箏の音の響きに、会場は再び明るい空気に包まれました。

最後のステージは、ソプラノ

歌手、田村かよ子さん、香絵子さんによる声楽。春を呼び込むような「春の声」や力強いロシア民謡メドレーの後、ミュージカル『マイ・フェア・レディ』より「踊り明かそう」。二人の美しく迫力ある声に観客は聴き入っていました。

四百十五人が来場され、伊丹

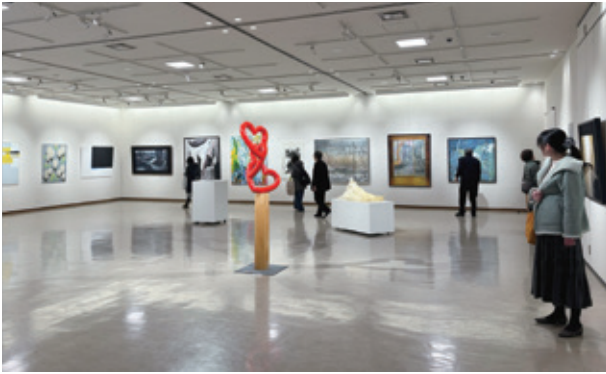


市芸術家協会ならではの多様な音楽を一度に聴ける充実した内容の演奏会となりました。



令和七年度 伊丹市芸術家協会展

伊丹市芸術家協会展は、三月十一日（水）から二十二日（日）までの十一日間、市立伊丹ミュージアムの展示室で開催しました。新会員三人の披露も兼ね、計五十五点（絵画二十三点、彫刻一点、工芸七点、書十四点、写真九点、デザイン一点）を展示しました。来場者の皆様に、各会員の精魂込めた作品をご鑑賞いただきました。



展覧会 関連事業を開催

芸術家協会展会期中の三月十四日（土）、造形部門（洋画）の池本長蔵さん、北浩二さんによるワークショップ「色鉛筆のアトリエ時間」を開催しました。

参加者は、デッサンの技術を学びながら、卓上静物（アンティークランプ）を描きました。ワークショップ申込受付開始日に満席となる人気の講座で、参加者は池本さん、北さんに教わりながら自分で描いた絵に満足の様子でした。参加者アンケートにはとても楽しかった、こ



のような講座があれば是非また参加したい等の温かい声が多く寄せられました。



伊丹市芸術家協会新会員決定

新人賞

猪又 智子さん(日本画)
馬川 亜弓さん(版画)
池田 留位さん(ホルン)

新会員

山田 光子さん(日本画)



(左から)中田市長、馬川さん、猪又さん、池田さん、山田さん、藤本代表幹事

令和七年度伊丹市芸術家協会の新人賞・新会員がそれぞれ決定し、表彰式を三月十五日(日)に開催しました。新人賞には、猪又智子さん、馬川亜弓さん、池田留位さんの三人が選ばれました。また、新会員に山田光子さんが選ばれ、新人賞の三人と合わせて四人を新会員に迎えました。

猪又さんは、京都芸術短期大学で日本画を専攻されました。その後、伊丹市展への出品に始まり、東京、京都へ活動範囲を広げていかれました。日本画を目指す人たちにとって大きな目標である創画会へ出品を続け、連続入選される実力の持ち主です。今後、作家活動が減少している日本画を牽引されることが期待されています。

馬川さんは、京都精華大学芸術学部造形学科版画専攻を卒業後、プロの版画家として制作活動を広げて来られました。京都を拠点とした国際的なアートイベント「ART BEAT KYOTO」においては二〇〇五年に「ART BEAT KYOTO AWARD」を受賞、さらに、国際木版画会議の主催による「第二回国際木版画展二〇一四」に入選するなど、木版画分野において評価を得られています。国内外でのアートフェアへの参加、ギャラリーでの個展等作家活動を展開され、また、伊丹市の工芸センター講師として、後進の指導にも長年尽力されています。

池田さんは、中学校の吹奏楽部でホルンを始め、大阪音楽大学音楽学部で管楽器を専攻されました。日本ホルン協会主催ジュニアソロホルンコンクール第一位他各種コンクールに上位入賞され、様々な演奏会に出演されています。またザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団コアメンバーを経てドイツに渡り研鑽を積まれました。若手ホープとして今後の活躍が期待されています。

山田さんは、甲南女子大学国文学部卒。五十歳半ばで日展の佐々木淳一氏に師事され、日本画を始められました。伊丹市展で伊丹賞を受賞、その後、日春展、兵庫県展、新日春展へ出品し、入選を続けられています。伊丹美術協会の会員としても活動されており、意欲的に活動を続けられています。

新会員四人の入会により、活動の幅が広がる伊丹市芸術家協会にご期待ください。

日本画の魅力

猪又 智子

この度は、伊丹市芸術家協会に入会させていただき、新人賞もいただきまして、誠にありがとうございます。

私は小さい時から絵を描くのが好きでした。そして美術大学に進学しました。絵画教室の先生から日本画が合っているとされたのが日本画との出会いです。そこから日本画を描くことになりました。

大学一年生の時は画用紙に色鉛筆を使って京野菜(採れたての筍、金時人参など)や動物を描きました。鉄線、芍薬の花は顔彩で描く練習をしました。色を見て色鉛筆で繊細に表現する事で色彩感覚を養う勉強になりました。

日本画制作になると思ったより難しかったです。日本画のパネルに麻紙を貼るのはドーサ液を

塗って一日乾かしてから水張り

するため手間がかかります。また、日本画で使用する岩絵具は血に入れて膠(にかわ)液と水を混ぜて塗りますが、失敗すると画面がひび割れてしまいます。岩絵具はなかなか自分の思った通りの色にならないため、何度

も重ねることで少しずつ自分の理想の色に近づいていきます。これは綺麗な色が出ると思っていたても乾いた時に違う色になってがっかりする事もあります。やっと完成した時は自分の気持ちの色が表現できたと思えば達成感があります。

関西に来て、色々な美しい日本画を観て驚きました。特に奈良県の松柏美術館の上村松園、上村松篁、上村淳之先生の絵が印象に残っています。そこは、美術館全体も綺麗でした。岩絵具は鉱物を砕いて作られた粒子であり、粗い粒子から細かい粒子までありますが、松柏美術館で行われている公募展の作品も

岩絵具の粒子が重なり合い照明が雰囲気良くあたってキラキラ輝いていて感激しました。いつかそこに展示されたいと思って何回か応募し、ついに入選でき、その松柏美術館に展示してもらえた時は夢のようで嬉しかったです。

これまで、岩絵具を使った日本画には、その場から動けなくなるほど色彩が綺麗な絵、内面を巧みに表現している絵がありました。絵を観て慰められたときもありました。また、日本画は余白の空間での表現、奥行きのある空間、装飾の華やかさ、金箔を使った表現、色彩の上品さが魅力です。立体物を平面上に表現したり、影を色で表現したりするところも魅力です。

二〇一四年に夫の仕事で米国赴任に帯同する事で、日本では花ばかり描いていたのですが、風景も描ききっかけとなりました。米国は絵本の中の世界のようにその世界を絵で表し

たいと思いました。

日本画の創画会に二〇一三年から出品させていただいています。創画会では色々な表現の日本画を観ることが出来ます。先生方や出品されている方々の絵を観たり、アドバイスや感想などを聞けたりすることは、とても勉強になっています。創画会の筍々会という歴史のあるグループ展にも参加させていただきました。

絵を描いているとくじけそうな気持ちになる時がよくありますが、家族の支えや先生方や



猪又さん作品「新しい風景(アーリントン, MA)」

仲間、画材屋さんのお励ましなどでなんとか続けていく事ができ、感謝の気持ちで描かせていただいております。伊丹市芸術家協会に入会させていたたく事でこれから絵を描き続ける事への大きな励みになります。皆様が希望を持てるような絵を描けるように精進して参ります。

新会員投稿

これまでとこれから

馬川 亜弓

この度は伊丹市芸術家協会の新人賞をいただき、ありがとうございます。

私は京都精華大学で黒崎彰先生から木版画を学び、伊丹で制作を続けてまいりました。

伝統的な日本の水性木版画技法を大切にしながら、日々の生活や考えの中から生まれる作品をこつこつと作り続けてきました。

この十年はギャラリーや百貨

店、アートフェアへの出展の機会を多くいただき、台湾での活動も経験することができました。

学生時代、黒崎先生の国際的な活躍に憧れていた私には夢のようなことです。

作品とともにあちこちへ出かけて、たくさんの方々に出会えたことは私の人生の宝となっています。

伊丹では二〇一六年に伊丹市立工藝センターにて「花鳥風月犬」、二〇二三年に東りいたみホールにて「FLYING」という展覧会を開催させていただきました、今



馬川さん作品「Spring Ring」

は市立伊丹ミュージアムでの水性木版画講座を担当しております。

また今年には伊丹で両親が三十五年間営んでいたジャズ喫茶ステージが閉店となり、私も長く店を手伝いながら作家活動をしてきたので大きな変化の年です。

この節目の時にこのような賞をいただけたことは大変励みになり、心強く思います。

これからもマイペースに楽しみながら制作を続け、新しい自分の道を歩んでいきたいです。

伊丹市芸術家協会の皆様との交流を通して作家としてさらに成長し、お役に立っていただけるよう精進してまいります。

新会員投稿

響きを重ねて

池田 留位

このたびは伊丹市芸術家協会の新人賞という荣誉ある賞を頂戴しましたことを、心より

感謝申し上げます。

私は伊丹市で生まれ、両親が音楽に携わる家庭環境で育ち、幼い頃から音楽が身近にある日常を過ごしてきました。その中で出会ったホルンという楽器は、私にとって自己表現の手段であると同時に、人と人をつなぐ存在でもあります。音を重ね、響きを共有することは、今も私の音楽活動の原点となっています。

オーケストラや室内楽など多様なジャンルやスタイルでのコンサートを経験することで、共演者それぞれの音楽性や人間性に触れながら、自身の演奏をより深めていく機会を多くいただいています。そうした環境の中で演奏を続けられていることに、日々感謝しています。

現在は演奏活動と並行して、自分自身が得た様々な経験を沢山のひとと分かち合いたいという目的のもと、後進の指導や地域での音楽活動にも携わっています。今後は、伊丹の地でもコン

サートや指導の場を広げ、私を育ててくれた町へ音楽を通して恩返ししていきたいと考えています。

伊丹市芸術家協会の一員として、地域に根ざした芸術活動に真摯に向き合っておりま
す。今後ともどうぞよろしくお
願い申し上げます。



新会員投稿

日本画

山田 光子

この度は伊丹市芸術家協会
にご推薦いただきありがとうございます。
ございます。

思い返せば五十歳半ば…。
それまで運動ばかりの生活で
したが、ふとこの先一人でも、走

れなくなってもできること。

そうだ、絵を、日本画をやっ
てみよう！とカルチャーセン
ターに通いはじめました。

岩絵の具も膠も知らず、なん
となく描けそうな気がして。

「十年続けて何ぼ」と言われ
ながら…。

五く六年経ったときに伊丹市
展で伊丹賞、日本画の公募展
入選と続き舞い上がりました。

「なんだか 才能がありそう」と
低い鼻も高くなるうというもの
です。

さあ、ところがこれが大きな
間違いで、その後は、呼べど叫べ
ど鳴かず飛ばず、笛吹けども踊
らずで。

(あ…、これが世にいうビギナー
ズラックか)

と思ひ知らされる事でした。

そんなこんなを繰り返した
からそろそろ二十五年。

少しは上手くなったのか開き
直ったのかわかりませんが、運
動が出来なくなってもと始めた

日本画が生活の一部になりま
した。変わることなく今後も続
けていきたいと思っております。
この度推挙くださいました池
本、北里両先生に厚く御礼申
し上げます。



山田さん作品「ふたり」

芸術文化活動支援事業報告

ジョイント・

リサイタルのご報告

田村香絵子

穏やかな秋晴れに恵まれた
十一月二十一日(金)、「田村か
よ子&田村香絵子ジョイント・

リサイタル」を伊丹アイフォニッ
クホールにて開催いたしました。
世の中は穏やかとは言えませ
んが、その中であって今日一日また
音楽に、歌に携わることは何も
にも代えがたいことです。

さて、今回は連続テレビ小説
で注目を集めたやなせたかし
氏の詩に、現代を代表する作
曲家木下牧子氏が曲をつけた
『愛する歌』シリーズ、戦後八十
年に想いを馳せ、祈りを込めて
「アヴェ・マリア」「死んだ男の残
したものは」「ピエイエズ」を。
その他、生誕二五〇年記念、J・
シュトラウス二世の『美しき青
きドナウ』の明るく優雅なワル
ツ、哀愁漂うチャイコフスキー・
ラフマニノフなどのロシア歌曲、
華やかな装飾が見せ所のバロッ
クオペラ『アルタセルセ』より「嵐
の海を進んで」といった知られ
ざる名曲もご紹介。最後は「苦
しいときにあなたがそばにいて
くれる 私はどんな困難にも立
ち向かっていくことができる。今



ジョイント・リサイタル
田村かよ子(左) 田村香絵子(右)

以上の私にもなれる」と、私たちを励ましてくれる曲「you raise me up」で締めくくりました。さらにこの度はピアニスト阪本朋子氏のご尽力により、ピアノに加えキーボードも使用。ピアノとはまた違った響きでもお楽しみ頂きました。

「音楽」は目には見えませんが、私たちの心を一つに繋げてくれたように感じました。これからもそんな音楽の力を信じさらに精進してまいります。ご支援を賜り誠にありがとうございました。

会員活動通信

(部門別50音順)

〈邦楽〉		
菊井 松音／菊葉真うさぎ 伊丹三曲協会 第95回箏・三絃・尺八による邦楽演奏会 菊井箏楽社独奏会 第20回記念華のコンサート	スワンホール 兵庫県立芸術文化センター	5月4日(月・祝) 7月12日(日)
菊井 松音 2026スワンフェスタ 菊池真理師籍50周年 箏の会演奏会 都山流大阪府支部第57回尺八演奏会 令和8年度都山流尺八楽演奏会	スワンホール 西宮市プレラホール 国立文楽劇場 西宮市プレラホール	5月9日(土)・10日(日) 9月12日(土) 9月13日(日) 9月19日(土)
菊葉真うさぎ ゆうゆう和楽器コンサート	豊中市立文化芸術センター	9月1日(火)
山村 若萌紀 第一回上方舞萌紀会 山村流舞の会 山村若萌紀 上方舞 夏の会 鳴く虫と郷町	東りいたみホール 国立文楽劇場 旧岡田家住宅(市立伊丹ミュージアム内)	5月6日(水・祝) 8月1日(土) 9月下旬
〈絵画〉		
馬川 亜弓 馬川亜弓 木版画展 馬川亜弓・大越順子・糀谷陽子 3人展 twinkle twinkle little things vol.2 市立伊丹ミュージアム 水性木版画講座	京阪百貨店守口店京阪美術画廊 ジェイアール京都伊勢丹 10階アートスペース Gallery Heptagon(京都市) 市立伊丹ミュージアム	4月2日(木)～8日(水) 4月28日(火)～5月3日(日) 5月16日(土)～24日(日) 6月17日～7月15日の水曜
北 浩二 京都大丸美術画廊 二人展	大丸京都店美術画廊	6月10日(水)～16日(火)

編集・発行 伊丹市芸術家協会

[事務局] 伊丹市文化振興課
 〒664-8503 兵庫県伊丹市千僧1丁目1番地
 TEL 072-784-8043 FAX 072-784-8048

計報

音楽部門の永澤讓様が令和8年2月9日にご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。